

【南区】平成 28 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	平成 28 年 6 月 17 日(金) 午後 2 時 00 分 ～午後 2 時 55 分
場 所	南区役所 6 階 特別会議室
出席者	<p>【座 長】仁田昌寿議員</p> <p>【議 員：4 名】遊佐大輔議員、渋谷健議員、荒木由美子議員、伊藤純一議員</p> <p>【南 区：24 名】大木節裕区長、池尻恵子副区長、富田千秋福祉保健センター長、高家達朗福祉保健センター担当部長、國本直哉土木事務所長、太田孝消防署長（災害担当部長）ほか関係職員</p>
議 題	平成 28 年度個性ある区づくり推進費執行計画等について
発 言 の 要 旨	<p>【荒木 議員】</p> <p>いくつかの地区懇談会にも出席させていただいたが、テーマを限ったやり方に変えたのはよかったと思う。</p> <p>先日、新聞に横浜市が今後大規模地震に見舞われる可能性が高いという記事が掲載されたが、その話題を上手く使いながら、区民に周知徹底を図っていただきたい。自助が本当に大事ということをもう少し強く言わないとだめで、お節介だと言われるぐらいに南区役所から出前に行きますというのが一番だと思うので、まずそれをやっていただきたい。</p> <p>また、リニューアルした市の防災センターと、上手くタイアップした仕掛け作りを考えてもらいたい。</p> <p>資料には、レスキューボードを 170 枚 39 箇所配備とあるが、場所によっては、自分たちで購入したいというところもあるので、そのような要望があれば、区で取りまとめて安く購入できるような方法を検討できないか。</p> <p>【関森 総務課長】</p> <p>近く行われる入札結果により、購入単価が安くなるようであれば、数</p>

を増やすことは十分検討できるかと思います。ただ、私どもとしましては、来年度にも予算を計上し、地域防災拠点運営委員会の方々の合意が取れるのであれば、地域防災拠点だけではなくて、個別の町内会にも配備したいと考えています。

【荒木 議員】

レスキューボードが必要とされる所にアピールして、補助金や局区連携という手法も踏まえて、次のステップを考えていただければと思っています。

大雨洪水警報などが出た時の広報の方法としては、確かにSNSが一番速いが、誰でも使える訳でもないので、広報車をどこからか出してほしい。そういう場合は、区役所だけが主体的に動くばかりではなくて、消防局や消防団と連携するとか、サイレンなど音を出すだけでもいいと思うが、どう考えるか。

【関森 総務課長】

区役所にも土木事務所にもスピーカー付きの車がございます。また、消防とも連携するとともに、南警察署とも土砂災害関係で、事前に危険区域を回ってもらうように連携を取らせていただいています。

また、危険崖の即時避難勧告対象の世帯については、5月の終わりから再度全世帯を回りました。去年は、290世帯ほどという数字をご説明しましたが、その後、戸建ての家が建築されるなど、現在は320世帯となっています。

【荒木 議員】

南区では、崖対策もすべて点検に入ったと思うので、次のステップとしては、自分で崖を所有している人に対して、補助金制度の周知をしなければならないと思うが、土木事務所として、どのように計画しているか。

【落合 土木事務所副所長】

土木事務所としましては、道路の崖対策をまず先に当たらなければいけないと思っています。今年は、別所にある崖の設計を進め、工事発注の準備をしているところです。道路崖のある隣に、民地の崖もある所

もごじますので、そちらについては、建築局が行っている崖の助成等の制度を所有者に周知しながら、取組を働きかけたいと思います。

【荒木 議員】

認知症の啓発では、さまざまな取組がなされているが、一番肝心なのは「認知症サポート医の協力」だと思う。サポート医は何人ぐらいいるのか。また、認知症の方をサポート医に繋げるとするのは、単純ではないと思うが、どのような手法を考えているのか。

【飯田 高齢・障害支援課長】

認知症サポート医につきましては、南区では3名、全市では63名です。今年につきましては、認知症サポート医との連携をとるということで、検討会を立ち上げる予定で、どうやったら、認知症の方々を早く治療に繋げることができるのか検討をしていきたいと思っています。

【荒木 議員】

先日の商店街活性化支援の「朝市」は本当にお疲れさまでした。来場者もすごく喜んでいてよかったと思う。ただ、残念だったのは、土日に区役所や公会堂でこのようなイベントがあっても、シャトルバスが動いていないので、来る足がないということ。せめて区主催の催しがあった時や土曜開庁日には、シャトルバスを運行するように交通局へ働きかけができないか。

また、採算ベースに乗せるために、横浜橋商店街やセンター病院の前を通るとか、三吉橋演芸場とタイアップするなど、何かいい方法を検討してもらうとともに、弘明寺駅や蒔田駅などの主要駅からも乗れるようにしてほしい。

利用者の実態をよく見てもらうとともに、区の色々な行事と絡めて、運行の時間帯も検討する余地があると思うので、是非ここは前向きに考えていただきたい。

【水野 区政推進課長】

土曜開庁や休日のイベントの開催時につきましても、交通局には、シャトルバスの運行のご要望もあるというような話はさせていただいておりますが、利用人数の面で、なかなか難しいと聞いております。

シャトルバスを運行することになった趣旨としましては、西部地域の5連合の皆様から、アクセスが不便となる区役所にきちんと行けるようにしてほしいとのご要望をいただいて実現したことから、まず、シャトルバスの区庁舎への利用者数を何とか増やそうということで、区役所としてもしっかりPRさせていただきたいと思っています。町内会の回覧や掲示をお願いしたり、区役所の庁舎内にポスター掲示をしたり、区のホームページもトップページの見やすいところに掲出したりとか、今すぐにはできる範囲で力を入れてやっております。

【大木 区長】

区庁舎の移転に伴うアクセスの問題は、中島区長から最重要課題の一つとして、きちっと引き継いでおり、これにどう対応するのかは、本当に重要だと思っています。まず、バスの利用が高まるということに全力を挙げて、使えるアイデアはみんな使おうという形で行っています。回覧だけではなく、5連合の全世帯に、区と5連合の連名でチラシを配ろうというのもその一つです。また、区民利用が多い2階に設置したデジタルサイネージにもお知らせを出したり、区役所に午後1時半に到着するバスの人が間に合う時間に会議を開始する取組も行っています。なるべく西部の方々が利用しやすくなるバスにするための色々な努力を全力で取り組んでいるところですので、先生方にもご協力をいただけると幸いです。

【荒木 議員】

バスの運行について、まだまだ周知されていない部分もあるので、私も地元でアピールしたいと思っている。また、「バスがあってよかった」という声もあるのだから、是非広報に載せてアピールしていただきたい。

【伊藤議員】

「みなみ減災推進事業」、「みなみのみらい計画推進事業」、「広聴広報相談事業」の3つの事業は、それぞれ1割以上の減となっているが、その中で最初の重点事業である「みなみ減災推進事業」の300万円の減額理由は、主に何だったのかお聞きしたい。

【関森 総務課長】

昨年度の予算では、『防災ガイド共助編』を作成しましたが、この印刷の経費が300万円でした。本年度は、自助・共助を改めてお知らせしようということで、この防災ガイドを活用して、職員が地域に出ていくというスタンスに変えましたので、今年度は予算計上をしていないことによるものです。

【伊藤議員】

弘明寺商店街で、家主の方が入院されているために空き家状態になっているところに、不審者が出入りして、煙草が投げ捨てられているとの相談を受けている。住宅密集地の火災は大変な事態になってしまうので、区独自で何かできることはないのか、考えがあったら教えていただきたい。

【水野 区政推進課長】

当該案件については、法律の趣旨に則って、税務情報等を調べたうえで、通知を送らせていただいているところですが、今の段階では、行政のほうでバリケードを張るといような具体的なことできない状況です。消防にも、見回り等ができないか相談をしましたが、個別にアプローチしていくというのは、難しいような状況となっています。ただ、実際に不審者が立ち入っているような状況であれば、どういった対応が行政としてできるのかを含めて考えたいと思います。

【伊藤議員】

不審者とかそういう話になると、警察も絡んでくるので、南消防署、南警察署とも連携を取って、個々のケースに対応していただければと思う。周りの方が心配しているので、それなりの説明をお願いできたらと思う。

区役所の窓口を拝見したところ、通訳と書かれた緑色のビブスを付けた方がずっと座っていた。繁忙期の時は色々大変だと思うが、常にあるお仕事ではないと思うので、通訳の方もずっと座っているのも大変だと思う。月あたりどのくらい対応しているのか、実績を教えてください。

【水野 区政推進課長】

広聴広報関係での通訳ボランティアの昨年度の状況ですが、4月から12月までの状況として、中国語の関係が475件、英語が30件で、500件ほどの対応をしております。

【伊藤議員】

通訳として雇っている人なので、その仕事以外にさせるということは難しいとは思いますが、ただ座っているだけだともったいない気がするので、他に案内業務などができないのかなと思う。できれば工夫をお願いしたい。

【遊佐 議員】

前回の区づくり推進市議員会議の資料には、細目事業の予算額が書かれていたのに、今回は全体の事業費しか書かれていない。何か理由はあるのか？

【関森 総務課長】

今回は、執行計画の説明ということで、事業の具体的なスケジュールを記載しているため、金額を表示していません。分かりやすさという意味で、次回から表記したいと思います。

【遊佐 議員】

区づくり推進市議員会議の議論の中身は、区の内部できちんと引き継がれているのか？ 例えば、オリンピック関連事業は、私が最初から言ってきたものだが、風向きが変わってきたように思える。

【青木 地域振興課長】

オリンピック関連事業については、東京オリンピックが開催されるまでに盛り上げることで、遊佐議員が「子どもオリンピック」のようなものを是非開催してほしいとおっしゃっていることについて、きちんと引き継いでいます。

【遊佐 議員】

私は当選した時から、バス問題と区役所の跡地問題について取り組ん

	<p>できた。現在のシャトルバスの試験運行は、何とか廃止せずに残せるように区役所としても頑張ってもらいたい。</p> <p>空き家問題も、当初は相談窓口もない状況だったが、私が建築局に働きかけてようやく動き出した。崖の問題も同様である。そのような過去の議員の取組を継承してもらいたい。</p> <p>地区懇談会が課題テーマを絞って開催されることについては、よかったという意見もあれば、よくないという意見もある。今後、各区でも地区懇談会を作って行こうとなった時に、区の選出議員がどこかで関わられるような形にしないといけないのではないかと考えている。来年度の地区懇談会のテーマに関しては、この区づくり推進市議員会議の場で、承認とは言わないまでも発表をしてほしいので、他の先生方も色々なご意見があると思うが、是非検討してもらいたい。</p>
備 考	